

矢吹法律事務所

ローヤーズ・ポリシー

矢吹法律事務所の目標

当事務所は、(1) 顧客のビジネスを理解し、それに即応したカスタマイズされたサービスと (2) 個々の弁護士の専門分野における優れたサービスを基調として、顧客に対する最善のサービスを迅速に提供することを最高の価値と考えます。また、弁護士としての社会的使命を自覚し、公共への奉仕にも重要な価値を置いています。

本ポリシーブックには、矢吹法律事務所で働く全ての弁護士が、事務所で勤務するにあたり、上記の目標を目指し、心がけているポリシーが記載されています。

ポリシー 1.0 優秀な弁護士となる

ポリシー 1.1 優秀な弁護士を目指す

法律専門家として優秀な弁護士とは、**Super Generalist** または **Specialist** を言う。前者は、少なくとも3分野において準専門家といわれる程の知識（著作、研究、駆使能力、知名度からなる）と経験を身につけ、さらに専門家と共に複雑な仕事をチームで完遂させることができる能力を持つ弁護士であり、後者は少なくとも1分野において極めて高い専門家としての知識（同上）を有し、ベストプラクティスを実践することができる弁護士をいう。

優秀であることを常に追求して止まず、人知れず勉強し、常に研鑽する。

コメント： 優秀であるとは単に地頭が良いことを言うのではない。弁護士は依頼者のために仕事をするのであるから、依頼者にベストは助言やサービスを提供できる弁護士を「優秀」と呼ぶ。しかし、それは依頼者の言うことをそのまま聞き入れることも意味しない。法律家というプロフェッションとして依頼者のベストな利益となるように仕事をするのである。そのため、時には依頼者の意見に反することもあるが、そのような場合は依頼者を説得することも仕事である。

時間を大切にして、24時間を有効に使い、集中的に働く。

甘やかされることを好まず、過激な競争に耐えることができる。

ポリシー 1.2 実行する能力・解決する能力を身に着ける

常に全体から部分を見て決断し、着地点を見極めたうえで、一度始めたら途中で決してやめない。過程でなく、常に結果で答える。

その結果、難しい問題でも結論に導く実行力を身につけ、通常人ではできない成果を生み出すことができる。

ポリシー 1.3 情報収集能力を持つ

情報を常に収集し、分析し、その価値を選別する能力を持つ。そのために、多様で多くの情報収集源を保持する。

ポリシー 1.4 素晴らしいコミュニケーターである

他の人から信頼を受けることが出来るコミュニケーション能力（伝達能力）を持っている。

書面、口頭、手紙、メール、ファックス、直接、間接などいろいろなコミュニケーションの道具を自在にかつ適切に使用することができる。

発言などのコミュニケーションがシンプルで分かりやすい。

ポリシー 1.5 国際性を持つ

地球が職場となる。そのために、語学力、異文化への理解力、コミュニケーション能力を磨く。

ポリシー 1.6 自分のスタイルを持っている

見事なスタイルを持っており、見せ場を心得ている。

プロ用語を駆使して、プロらしい存在として評価される。

プロからも選ばれる存在となる。

ポリシー 1.7 リーダーシップを発揮する

多くの価値観を持つ集団をまとめ上げ、チームワークを堅持して、物事を成し遂げる。そのためには、チームに高い目標を徹底させ、結果を公平に評価し、明確にチームに説明することができる。

ポリシー 1.8 依頼者からの全幅の信頼を受けることができる

依頼者から常に求められる存在であり、依頼者が向こうからやってきて、尊敬される。

人やフィーが自然と集まる。適切なフィーが支払われる存在である。

周囲の人を勇気づけ、元気を与えることができる。

揺るぎない安定力を持ち、余裕を顔に感じさせ、笑顔がとても良い。

ポリシー 2.0 日常の心構え

ポリシー 2.1 常に完璧を目指し、高潔な意識を持ち続けることができる

常にベストプラクティスを心がけ、高い目標を永遠に持ち続け、現状に満足しない。

小さな差異に気が付き、いつも1%、2%にこだわり、決して低レベルを許さないプライドを持っている。

ポリシー 2.2 挑戦する姿勢を常に持つ

常に物事を挑戦と考え、挑戦し続ける姿勢を持つ。

常に新しいものを好み、変化をチャンスと考え挑戦していくことが楽しくて仕方がない。

ポリシー 2.3 柔軟な考え方をもち続ける

多様な価値観を受け入れ、自らも柔軟な考え方ができるように心がける。

どのような依頼がきても、どのような立場になっても、それに最適な対応が出来るようにする。どのような要求があっても、適宜対応できる柔軟性を持ち合わせる。

ポリシー 2.4 謙虚さと感謝の心を持つ

自分以外の全ての人から学ぶことがあると考え、全ての人に感謝の心を持つ。

恥とは何かを心得て、自分の能力を見せびらかせることをせず常に謙虚に振る舞う。

ポリシー 2.5 ゆとりを持つ

常にゆとりを持ち、冷静沈着で、居るだけで落ち着いた雰囲気を感じさせる。

ポリシー 2.6 約束を守る

約束や時間を常に守り、言い訳をしない。

ポリシー 3.0 未来志向であり、未来を予測する能力を持つ

未来を予測する能力をもち、新しい価値観を自ら作る上げることができる。

過去にこだわらず、常に肯定的に物事を考え、未来志向に徹する。

ポリシー 4.0 公共への奉仕を心がける

社会で生かされていることに感謝し、常に公共への奉仕を心がけ、小さな事でも公共に奉仕する習慣を身につける。

以上